

おおぞら 議会だより

CONTENTS

6月定例会	
新型コロナウイルス感染症対策事業に追加補正	2
議員3名が一般質問	5
①後藤議員 第一次産業におけるパートナー対策について	
②上地議員 女満別農業構造改善センターについてほか	
③三條議員 簡易水道事業について ほか	
まちづくり模擬議会を開催	
8名の模擬議員が一般質問	11
まちづくりの推進に関する決議を採択	16



No.61

OZORA
GIKAI DAYORI
[発行日]
令和3年(2021年)8月31日

大空に
人花心
育むまち

一般質問



上地史隆 議員

ひまわり温泉の泉質は素晴らしいです。皆さんも気軽に利用してみてください。

老朽化で改修が必要と考えるが 検討したい

問 女満別農業構造改善センターは、町民が健康で生産に励み、明るく豊かな生活を営むことができるよう、平成元年に設置され、現在は指定管理者制度で、女満別福祉会が運営している。



平成元年建設の農業構造改善センター

施設の特色としては、源泉かけ流しの公衆浴場があり、研修室と農業者相談室を備えており、会議や講習会でも利用することができる。町の避難所にも指定されているが、設置から30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、今後、改

修や設備の更新も必要になってくると思うが、考えを伺う。

問 課産業 令和2年度の施設利用者は、入浴者数が3万2,080人、数が702万円。町が支出している指定管理料が、954万円です。改修などについては、浴室の床の滑り止め工事を平成21年度と26年度に実施しています。また、近年では、更新工事として、令和元年度にボイラーソの取替工事、非常用設備しEDO化工事、自動券売機の更新、修繕工事として、令和元年度に玄関タイルの張替工事、令和2年度にボイラーの配管取替工事などを実施しています。

問 治槽内のタイルが剥がれたり、茶窓のサッシが腐食して茶褐色に変色している。また、1階のホールについても、即座に連携して取り組んでいくと言われているが、実際に洗い場の床で滑り、転倒されている方が、実際に洗い場の床で滑り、転倒されている方もいる。また、浴室のトイレも幅が狭く、福祉衣スペースなども検討するべきではないか。

問 レジオネラ菌の発生については、5月19日に年1回の水質検査を行ない、6月4日に発生の報告を受けたとのことだが、その期間利用実際にはまだ対策が十分講じられないわけですが、できるだけ早期にこれらを解決できるよう努めたいと考えています。

問 レジオネラ菌の発生については、5月19日に年1回の水質検査を行ない、6月4日に発生の報告を受けたとのことだが、その期間利用実際にはまだ対策が十分講じられないわけですが、できるだけ早期にこれらを解決できるよう努めたいと考えています。

問 レジオネラ菌の発生については、5月19日に年1回の水質検査を行ない、6月4日に発生の報告を受けたとのことで、大空町は、この問題に対する対応として、既に実施したところです。現在、休館状態になっていますので、この機会に総点検を行ない、施設の改修についてどのようにすればいいか、議論したいと思います。

女満別図書館の老朽化について

教育長▼大規模改修も含め検討したい

問 北海道子どもの読書活動推進計画では、家庭・地域・学校等の関係機関が一体となり、社会全体で自主的な子どもの読書活動が推進されるよう環境整備に積極的に取り組んでいる。

本町における読書活動の取り組みとして、図書館では乳幼児健診に併せて、図書館職員から絵本のプレゼントを行うブックスタート事業を行なっています。また、読み聞かせボランティアの協力を得て、児童センターや学校、図書館などで読み聞かせも行なっています。

教長 本町における読書活動の取り組みとして、図書館では乳幼児健診に併せて、図書館職員から絵本のプレゼントを行うブックスタート事業を行なっています。また、読み聞かせボランティアの協力を得て、児童センターや学校、図書館などで読み聞かせも行なっています。

地域における読書環境づくりとしては、住民向け講座や図書館フェスティバルといったイベントを開催するなど、読書活動や図書館活動の普及啓発に努めています。

大空町においても、子どもの読書環境を整備し、子どもの読書活動が推進されるよう環境整備に積極的に取り組んでいる。

問 GIGAスクール構想で各学校にパソコン、タブレットを配置しているのに、図書館を企画するなど、読書活動や図書館活動の普及啓発に努めています。子どもたちの発達段階に応じた取り組みとしては、町内に移動図書館車が定期的に巡回し、子どもたちの読書習慣の定着が図られています。図書館環境の整備、充実を図ることとともに、学年に応じた推薦図書を紹介するなど、読書活動の推進に成果をあげています。

教長 近年、情報通信技術の進化、発展に伴って、タブレット端末やパソコンの貸し出しサービスを行なう図書館が

増えてきています。計画に沿ったICT機器の整備を今後進めたいたとっています。

また、電子書籍については、他市町村に先駆け、平成24年度から大空町の独自事業として、図書館司書の巡回配置事業を行なっており、学校図書館環境の整備、充実を図ることとともに、学年に応じた推薦図書を紹介するなど、読書活動の推進に成果をあげています。

問 GIGAスクール構想で各学校にパソコン、タブレットを配置しているのに、図書館を企画するなど、読書活動や図書館活動の普及啓発に努めています。また、平成29年度のアンケート調査では、高校生になると図書館を利用する人が減り、改善策として電子書籍を導入してほしいという意見もあつた。コロナ対策として導入する自治体も増えており検討していく必要があるのではないか。

増えてきています。計画に沿ったICT機器の整備を今後進めたいたとっています。

また、電子書籍については、本年4月1日現在、全道8カ所の図書館に整備され、管内では北見市、網走市の図書館で導入されています。ただ、導入にあたっての課題として、導入経費と維持経費の問

題があり、費用対効果を十分見極めながら、慎重に検討したいと思います。

なお、パートナーとして、大空町民も電子書籍の閲覧が可能となりますので、利用いただけるよう周知を図りたいと思います。

問 女満別図書館は、平成2年に開館して30年以上が経過し、原因不明の雨漏りがするとも確認がとれている。総合計画で、令和4年度に1億1,058万円が計上されているが、どのような考え方なのか。

教長 大空町学校施設等長寿命化計画によると、女満別図書館の劣化状況評価では、議員ご指摘のとおり、屋上から雨漏りが発生しているなど、劣化が見られたことなどから、早急に対応すべき施設という結果となっています。また、他の箇所でも劣化が生じていることも判明しており、今後、大規模な改修が必要であると認識しています。

一般質問



さんじょうゆき お
三條幸夫 議員

良質な水の確保は町民皆さんのが待ち望んでいるに鋭意努力する

問 簡易水道事業の現状と課題として、
①水道施設、石綿管等の老朽管の更新状況と今後、
②水道行き止まり管の現状と今後の対応、③女満別地区的水道水の現況、新規水道水の確保の状況と今後の対応について伺う。

町長 水道施設には取水地のほか、主要な施設として昭和浄水場は平成元年度と15年度に整備、大成浄水場は平成16年度の整備となっています。石綿管は一部残つており、延長は988メートルです。現在は、随時更新作業を行なっています。町内全体の管路総延長は約

330キロメートル、定耐用年数は40年です。また、行き止まり管では、残留塩素濃度が低下し、水質悪化を引き起こすことがあると言われています。対策として管路をループ化する方法があ



市街、低台、湖南地区に水道水を供給する昭和浄水場

りますが、現状は各家庭から連絡があつた際に、末端の排泥弁から水を捨て、管の中の水を更新する対応をしています。女満別地区における水源の改善、水源確保については、平成26年から水源の確保に向けた調査を行なっていますが、未端の水を更新する対応をしています。

問 女満別地区的水道水の水質改善と新規水源の確保に時間がかかるのであれば、例えば、浄水場の機器を更新して、これは以前にも検討されたことはあるのか

町長 もしれないが、古梅ダムを多目的ダムとして切り替えできないのかということも含め、再度、水の確保の可能性について、净水場の機器を更新していきますが、具体的なところに至つて、いま

現には至っていません。並行して、網走市との広域連携も検討していますが、具現的には大変期待を持たせながら、まだという状況であります。町民の皆さんには大変期待を持たせながら、まだという状況であります。

問 塩素臭対策には、いくつかの物理的な方法があると考へます。若しくは網走市の広域水道事業を展開するほうも安い、時間的にも早いと考え、現在の方向で進めてきてているところです。

そのため比較をした中で新しい水源を求める、公共交通機関を中心とした工研修会館を中心としたエリア、湖畔から駅前にかけてのエリアという形で3つに分かれている状況です。

今後は、空港線を中心とした商業機能をいかに充実させ、そこで立ち止まつた方々を市街地に引き入れていかなければならぬと考へています。土地の活用などを考え、引き込みの導線形態を作るとか、大空町の市街地のイメージ、女満別地域のイメージなどを作りながら、地域の方々に利用いただける、住んでいただけのまちづくりを進めたいと考へています。

地域の入口として、道の駅周辺を検討しているかは、決していいかということが大きい課題になるものと思つています。

その両方のキーポイントを上手に使いながら、その真ん中にあるこの市街地をどのように活性化させていくかということ

が大きな課題になるものと思つています。

その両方のキーポイントを上手に使いながら、その真ん中にあるこの市街地をどのように活性化させていくかということ

が大きな課題になるものと思つています。

その両方のキーポイントを上手に使いながら、その真ん中にあるこの市街地をどのように活性化させていくかということ

が大きな課題になるものと思つています。

その両方のキーポイントを上手に使いながら、その真ん中にあるこの市街地をどのように活性化させていくか

かといふこと

が大きな課題になるものと思つています。

その両方のキーポイントを上手に使いながら、その真ん中にあるこの市街地をどのように活性化させていくか

まちづくりに関する課題解決に向けて

まちの考え方を問う

一般質問には8名の模擬議員が登壇し、山下町長と渡邊教育長に対して、まちづくりに関する課題の解決に向けて質問を行ないました。

各議員の質問と、その答弁の要旨を掲載します。

☆森賀 聖子 議員
(12ページ)

1. 高齢者に対する移動支援事業について

☆大和田勝則 議員
(12ページ)

1. 移住・定住について
2. 観光・商工業について

☆大隅 貴博 議員
(13ページ)

1. 町の振興について

☆仲西 政克 議員
(13ページ)

1. 農業者の減少による対策について
2. 少子化による今後の高校の対応について
3. 画像編集を教育の場で教えることについて

☆佐藤 有紗 議員
(14ページ)

1. 居宅介護支援について
2. 公共施設の通信環境について

☆川村 淳 議員
(14ページ)

1. 大空高校生徒獲得に向けた取組について

☆後藤 満晴 議員
(15ページ)

1. 新型コロナウイルス収束後のイベントについて
2. 農作物の被害対策について
3. 空き家の有効活用について

☆岩原 基之 議員
(15ページ)

1. 公設塾について



『大空町まちづくり模擬議会』開催

7月10日(土)、議会議事堂にて「大空町まちづくり模擬議会」を開催しました。模擬議会では、大空町まちづくり推進塾生10名が模擬議員となり、町民目線から大空町のまちづくりに関する課題解決に向けて、「一般質問」、「まちづくりの推進に関する決議」を行ないました。



近藤議長あいさつ

この模擬議会は、町民が政策決定の場に参画する機会を通じて、まちづくりに対する関心と理解を深めてもらい、町民目線から大空町のまちづくりに関する課題解決に向けた提案をいただくとともに、将来のまちづくりを担う人づくりを目的として開催するものです。議会活動は多岐にわたりますが、中でも一般質問は町長はじめ執行機関に対して、まちづくりに関する提案や町民の声を届けることにより施策を展開していくいただくという活動です。また、町長からも活力ある豊かなまちづくりを進めるための政策が議会に提案されます。議会はその提案が町民のためになる公正なものか、財政運営上支障がないか、行政改革につながるか、少ない経費で大きな効果が出るものか、優先順位は妥当であるかなどについて町長に質疑を行い、最終的には議会の同意を経て、町長はその政策を進めることになりますので、いわば町の意思を決定する最高機関が議会です。本日は、この議場におきまして、大空町の将来に向けた貴重なご意見、ご提言をいただけるものと楽しみにしています。皆さんはから通告のありました質問の内容は、素晴らしい内容のものばかりです。模擬議会が皆様にとって有意義で貴重な経験となることをご祈念申し上げ、開会にあたり、挨拶とさせていただきます。



議事日程

開会あいさつ (近藤議長)

模擬議員紹介 (斎藤議会運営委員会委員長)

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 模擬議会議事運営の報告

(近藤慶子議員)

日程第3 会期の決定

日程第4 一般質問 (模擬議員8名)

日程第5 まちづくりの推進に関する決議

(矢浪亞由美議員)

閉会あいさつ (山下町長)



町の振興について

問 人口が減少している中、人の流出を防ぐことが最も重要な課題かと考えています。これから大人になる子どもたちも含め、生産人口の減少を防ぐための施策について、優先順位をつけて幾つか教えていただきたいと思います。

町長 町では総合戦略を策定し、子育て支援、移住・定住対策、起業化の支援や雇用の確保、人づくり事業などに取り組んでいます。事業に優先順位をつけるのではなく、それぞれの視点から着実に実施していくことが大切だと考えています。

問 自分の好きなこと、必要なことを選んで情報を得たり、行なったりできる時代になった一方で、自分のことだけしか行なわない、考え方が増え、協働という考え方方が薄くなっている感じがします。仕事を分散し、もっと町民が役割を担うなど、町民参加型のまちづくりを目指すための施策を含め、町の考え方を伺いたいと思います。

町長 大空町の自治基本条例は、町民が自治の主体であるという基本原則に基づき、町政や地域社会に参画すること。そして、行政には制度を体系的に整備することを求めている内容となっています。具体的な方法として、審議会や意見交換会への参画、

パブリックコメントやアンケート調査での意見表明のほか、まちづくり推進塾や地域づくり懇談会なども町民の皆様にまちづくりに参加していただくきっかけ、手段につながるものと考えています。

問 何事を行なうにも人がすべてであり、

それはすなわち人づくりだと思っています。子どもの教育はもちろん、現役世代の私たちも変化をしていかなければ、町の魅力にはつながらないと感じています。背伸びせず、小さな町でしかできない施策やイベントなどについて、発信していただけたらと思います。

町長 子どもたち、若い世代の考え方があったうえで、どのような施策のまちづくりをしておくかということが大切だと思います。「住居・職業・利便性」の三つのポイントを高め、子どもたちが将来、出ていったとしても戻ってこられるような地域づくりに励みたいと思います。



大隅貴博議員

高齢者に対する移動支援事業について

問 高齢者によるブレーキやアクセルの踏み間違い、逆走などの交通事故が毎日のように報道される中、大空町では運転免許自主返納に対する支援事業が始まりましたが、返納者は以前に比べて増加しましたか。

町長 町では昨年から運転免許自主返納への支援を開始し、報奨金として3万円を交付しています。令和2年度は30件の申請があり、令和3年度は6月末時点で14件となっています。

ここ数年来と比較し、返納が増えてきている感じますが、制度の効果によるものかどうかは、もう少し様子を見る必要があると思っています。

問 返納後の移動手段の一つとして、福祉タクシー券と外出支援タクシー券が希望者に交付されていますが、足りないという声も聞きます。免許を持っていない方に枚数を多く交付することができないか伺います。

町長 タクシー券交付時のアンケート調査では、47%の方が満足、やや満足以上、25%の方が普通という回答であり、一定のご理解をいただいていると考えています。しかし、現状で十分と認識しているわけではなく、今後、さまざまな視点、諸々の手段

の中から、どのような制度に取り組んでいけばいいのか検討したいと考えています。

問 私はこの町が好きなので、高齢になって、ひとり暮らしになつても、ずっと住吉の家で暮らしたいと思っています。これからもひとり暮らしのお年寄りが安心して老後の生活が送れるように支援策を続けるとともに、新しい対策も考えていただければありがとうございます。

町長 幅広い視野から物事を考え、町民の移動手段を確保することが、ご高齢の方々がいつまでも町に住み続けてくださる大きな要因だと考えます。これからもそういった視点を大切にしながら、まちづくりに取り組んでまいります。



森賀聖子議員

農業者の減少による対策について

問 高齢化や後継者不足で農業者が減少しています。農業を始めるにはお金がかかりますので、町として金銭面での補助などができるか伺います。

町長 農業への新規参入は、初期投資が非常に大きくなります。国や北海道の支援事業を補完する支援の制度化に取り組みたいと思います。

問 第三者継承や新規就農ができる制度をつくりたいだけたらと思います。

町長 研修制度や資金制度、支援金の制度を提示し、地域の農業を守ることに努力します。

少子化による今後の高校の対応について

問 少子化の中、大空高校を存続していくのか、対応について伺います。

教育長 生徒募集の始動を昨年より早めており、町内の中学校、斜網地区の中学校が主催する学校説明会に参加し、大空高校の魅力

仲西政克議員

を進路決定前に伝えることができました。

また、今月開催を予定しているオープンキャンパスは、募集開始から5日で定員70組の8割に予約が達しており、昨年以上に大空高校に対する中学生及び保護者の関心の高さが伺えると同時に手応えを感じています。

問 町の中学生たちが大空高校に通うような制度をつくっていただきたいと思います。

教育長 大空高校ならではの特徴ある教育をしっかりと行ない魅力を高め、多くの方に大空高校へ進学していただく努力を今後とも続けてまいります。

画像編集を教育の場で教えることについて

問 農作業や学校事業の動画をつくるなど、画像編集を大空高校で教えることはできないか伺います。

教育長 総合学科では多様な進路希望や興味関心に応えるため、選択科目の一部に情報メディアを活用してコンテンツ制作のスキルや発信について学ぶ授業が設けられており、動画編集技術を習得することについても、そのような生徒の主体的な活動を支える手段の一つとして、学ぶことができるものと考えています。



移住・定住について

問 移住・定住支援室の設置目的と現在までの取り組み状況について教えていただきたいと思います。

町長 大空町においても、人口減少に歯止めがかかる、働き手が少ない、人手が足りない、地域づくりの人材が不足しているなどの声が寄せられ、ワンストップで対応できる部署が必要と考え、昨年4月に移住・定住支援室を設置しました。

住宅や就業の相談、町の魅力の発信、無料職業紹介所の運営、地域産業の人材育成などの業務を行なっています。

問 農業・酪農をターゲットにした移住・定住ができるいか伺います。

町長 移住を検討される方の中には、北海道で農業や酪農への就業を考えている方も一定程度いらっしゃると思いますが、冬に作業ができないということで、通年での雇用が厳しいという面があります。



大和田勝則議員

また、規模拡大の意欲がある農業者が本町には多いことから、新規参入者への農地移動が簡単にできないという実情もございます。また、酪農については初期投資が莫大にかかるなど、そういうクリアしなければならない高いハードルがあるのも事実です。

観光・商工業について

問 大空町に来てもらえるようなイベント等を増やしたらどうかと考えています。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止となっています。来年度はアフターコロナを見据え、毎年開催してきたイベントの拡充や強化を図り復活させ、町民機運の醸成や経済活力の一助につなげたいと考えています。

問 女満別空港の近くに大きな施設をつくり、週単位で人が呼べるイベントを行なってみたらどうでしょうか。

町長 空港は町の生命線であり、大きな活性化のポイントです。どのように活用し、町民の元気づくりにもつなげていくのか、常に考えながらまちづくりに臨んでまいります。

新型コロナウイルス収束後のイベントについて

問 新型コロナウイルスの発生によってイベントがなくなり、地域コミュニティ活動の低下が心配されます。コロナ収束後、どのような形で地域活動や交流イベントを盛り上げていくことを考えているのかお伺いします。

町長 町民を励ましたり、勇気づけたりするため、大空町10年のときのようなイベントを開催する議論があつたのではないかと思っています。そういう発想で議論していくことが交流を絶やさない、また次のイベント交流などにつながっていくのではないかと思います。

農作物の被害対策について

問 野生動物による農作物の被害が問題となっています。ネットや電気牧柵を張り、対策を講じてきましたが、費用、作業の両面で負担が大きく、個別での対応が難しい状況です。町として被害対策に補助または助成できないかお伺いします。

町長 鹿柵の設置や狩猟による個体の軽減だけでは被害を縮小できていない状況です。電気牧柵は有効な方法と考えますので、支援制度についてJAとも相談しながら検討したいと思います。

空き家の有効活用について

問 空き家は、サークルや習い事、仕事場として貸し出すなど、有効活用の方法があると思います。今後どのように活用していくのか伺います。

町長 個人や企業所有の空き家については、空き家登録情報制度により所有者と希望者のマッチングを行なっています。



後藤満晴議員

後藤満晴議員

問 私は演劇の活動をしていますが、メンバーからは「遅くまで稽古できる場所があればいい」という話を聞きます。古くなった公営住宅を自由に使える空間にできないのか伺います。

町長 一定期間の経過後、用途廃止できる場合があり、町民の方々の要望に応えられるような使い方も考えなければならないと思います。

稽古場所については、旧東藻琴商工会事務所をあたのも一つであり、町としても相談に乗れるところかと思います。

公設塾について

問 大空高校の公設塾について、大空町在住の高校生にまで利用を拡大してはどうかと思います。町外に進学する子どもたちと大空町との接点を保つことで地域愛を養い、大学などに進学した後、またこの町に戻って来てもらうことによって人口減少の対策の一つになるのではないかと考えます。

教育長 公設塾は大空高校の魅力化の一環として行なっている事業であり、当面は大空高校生限定での運営を考えています。

ただ、町外に出られた地元出身の学生や社会人の皆さんと大空町がつながっていることは、大空町の



岩原基之議員

す。

ふるさと大空町を意識してもらうためには、子どもたちに大空町の魅力を伝えていくことが重要だと思います。さまざまな教育活動を通して、地域の活性化に貢献いただける人材を育んでいきたいと考えています。

問 だんだん少なくなってきた子供たちにこの大空町の魅力を伝える、そういう教育を全体で行なっていただきたいと思います。

教育長 本町の教育の羅針盤ともいえる第2次大空町教育推進計画では、子どものふるさとへの愛着や誇りを育み、地域社会の一員としてまちづくりに将来とも関わっていただける人材の育成に努めしていくこととしており、今後も生まれ育った大空町との繋がりが途切れることのないよう、引き続きさまざまな教育施策を展開し、人口減対策についても意識しながら取り組んでまいります。

大空町まちづくり模擬議会の会議録（全文記録）は、議会ホームページに掲載しています。

<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2021071600010/>

【スマートフォンはこちらから】 →



居宅介護支援について

問 ショートステイの必要性がある要介護者にも関わらず、事業所の都合により利用に至っていない方が町内に存在するとお聞きしました。

居宅介護支援は、要介護者に合わせて提供されることで、より長く在宅生活を継続するためのサービスです。必要であるにも関わらずサービスが提供できていない状況があるならば、改善に向けどのような対策をされているのか伺います。

町長 町内事業所に確認したところ、おおむね希望どおり利用できているようです。突発的な利用、介護状態により受け入れが難しく、近隣の施設を利用している事例があることも認識していますが、一時的な事象のために施設の増床、人員を増員することにはなりません。

個々の状況を把握し、どう対処すれば希望のサービスが受けられるか、役場や福祉関係者がそれぞれ気配りをもって対応することが前提として大切ではないかと思います。

問 大空町における今後の居宅介護支援のあり方について、お考えを伺いたいと思います。

町長 見守りネット事業、避難行動支援計画、認知症SOSネットワークなど、既存の取り組みの見

直しを図り、地域全体で困難を抱えている方をサポートする体制づくりが1番の課題だと思います。

人の関わりをどのように持たせていくかについて議論し、体制づくりを進めていかなければならぬと思っていました。



佐藤有紗議員

公共施設の通信環境について

問 公共施設に無料Wi-Fiが設置されている町村が増えています。新型コロナウイルスの影響により地域を越えた移動ができず、オンラインでの研修、会議等が急速に増え、通信環境の有無が参加の機会に影響を及ぼしています。公共施設への通信環境整備予定について、お伺いいたします。

町長 すべての公共施設へのフリーWi-Fi導入は考えていません。リモートを活用した会議や催しを企画する場合には、光回線を敷設している公共施設を利用いただければと思います。

されますので、優秀な人材に安心して働いていただける環境づくりと、さらなる体制の強化を図り、より一層魅力ある寮づくりを進めていただきたいと思います。

教育長 4月から新しい体制で寮の運営がスタートし、課題も生じていると認識しています。現場の状況を随時把握し、必要な見直しを行ないながら、生徒たちの寮生活が豊かで充実したものとなるよう、引き続きハウスマスターとともに努力したいと考えています。

問 給食の提供は、学生のみならず、保護者への魅力として大きな役割になるとを考えますので、検討いただきたいと思います。

教育長 給食を提供するには、東藻琴学校給食センターの拡張工事や調理設備の増設、学校側の搬入施設の改修、給食調理員の増員などが必要となり、多額の投資が想定され、当面、難しいものと判断しています。

問 高校の中に学食をという声が出てきた場合、対応は可能かお聞きします。

教育長 さまざまな課題のクリアが必要となります、実現できないわけではないと思います。現場の声も聞きながら検討を進めたいと思います。

大空高校生徒獲得に向けた取組について

問 旧東藻琴高校の歴史として、食肉加工製品の製造、販売を実施していますが、現2年生の卒業後は人的要因も含め、継続は難しいと聞いています。生徒につくる楽しさ、販売する楽しさを学ぶ機会と、地域住民との交流の場を継続していただきたいと思います。

教育長 大空高校では、授業で食品加工を行なうことは想定していませんが、生徒の教科外活動としての利用や地域の方に学校開放事業として加工室を活用していただくことを考えています。

フレッシュマーケットのような地域との交流の場は、大空高校の生徒や教職員の手によって新たな形が生まれるものと期待しています。

問 生徒の寮生活を支えるスタッフとして、2名のハウスマスターが採用され、日々尽力いただいていますが、来年度はさらに寮生が増えることが予想

模擬議会フォトギャラリー



北海道町村議會議長会 自治功労者表彰

町村議会議員として長年在職し、地方自治の振興発展に寄与・貢献された功績により、近藤哲雄議長、松田信行副議長、齋藤宏司議員が北海道町村議會議長会から表彰を受け、第2回定例会において伝達されました。おめでとうございます。

- ◇近藤議長～町村議会議長として7年以上、町村議会議員として25年以上（換算年含む）
- ◇松田副議長、齋藤議員～町村議会議員として15年以上



近藤 哲雄 議長

松田 信行 副議長

齋藤 宏司 議員

まちづくりの推進に関する決議

「大空に人花心育むまち」というまちづくりの基本理念の下、年々進行する人口減少・少子高齢化等を見据えた町民主体のまちづくりの推進に向け、まちづくりの担い手の育成を図ることを目的とした「まちづくり推進塾」が実施されました。

まちづくりのプレイヤーである議会や町から、議会の活動状況をはじめ大空町の魅力づくりや教育行政の現状、移住・定住施策の考え方や方法論等について学ばせていただくとともに、町民の声が行政に反映されるよう取り組まれていることやまちづくりに対する強い思いなどを、感じ取ることができました。

子どもたち、働く人、生活者という3つの視点を意識しながら、住みやすいまちの実現に向けて、具体的な提案を行うため、わたしたちは今日の模擬議会に臨ませていただきました。

地域を活性化し、まちづくりを推進していくためには、議会と町、そしてわたしたちを含め町民が密接につながり、協力し合いながら活動していくことが重要であると考えます。

大空町に暮らすすべての人が、将来に夢や希望を持つことができる持続可能なまちづくりを期待し、次に掲げる事項について提言いたします。

記

- 1 女満別空港を最大限に活用した市街地等の賑わいづくり
- 2 東京農業大学の学生とのつながりを大事にした新しい人材づくり
- 3 特色ある教育活動による人を呼び込む教育環境づくり
- 4 地域と学校の距離を近くするべく地域とともに学校づくり
- 5 遠隔授業の導入に向けた各学校間でのリモート授業の実施
- 6 農業経営の第三者継承等を活用した農家後継者問題対策の推進
- 7 ターゲットの年代を絞ったお試し暮らしに係る施策の実施
- 8 地域の中で顔見知りを増やすための若年層の横のつながりづくり

今日は模擬議会という形でしたが、本当の議会も含めて、この場に立つて一般質問にご答弁を申し上げること何回臨んでも緊張し、あがつてしまふものです。町長となり、もう19年目で、定例会の一般質問も70回以上受けたりますし、議員の方々の数でいうと延べ300人以上からいろいろなご質問を受けてきたと思います。私は、いろいろな施策が実現できる、町でいえば、まちづくりが進むということになると思います。それが楽しんで、この場に立っているというのが、私の正直な気持ちは、やはり自分が動くと経済が活性化すると言われております。今回もさまざま視点から一般質問をいただきました。この議論をもとに、また次の一步を踏み出す新しさづくりが動き出すことに間違いございません。それは皆さん方もぜひ自信を持っていただきたいと思います。行政としての役割をしっかりと果たしていくことをこの場でお誓いを申し上げて、お礼のご挨拶とさせていただきます。



山下町長あいさつ

大空町まちづくり模擬議会を議会と共催で開催されたります。議員の皆さんは大分緊張されていました。どうか、うなづいている方と、そだよといふ方と、二つに分かれるとかあります。また、大丈夫だと思います。

Voice 声 町民の声

議会に関心をもち 町民参加の まちづくりを



相馬 隆さん
(女満別眺湖台)

まちづくりを一般町民が考える時、何を頼りにしているのか。それは、できるだけ多くの情報ではないかと思います。その点では、大空町は月二回の広報や紙面に多くの工夫が生かされた議会だよりが充実しており、大いに助かります。

しかし、町の喫緊の課題を知るには議会でのやり取りではないかと思い、私は、議会を傍聴に行けない場合、大空町議会がYouTubeで配信しているライブ中継を視聴しています。

ただ、残念に思っているのは、映像や音声が途切れ

るなど、正常に視聴できない場合があり、答弁の一番聞きたかった部分を聴けない時があります。予算や契約上の課題があるとは思いますが、是非とも全部視聴できるようにできないでしょうか。

また、過去の録画映像を見ていると実況中継そのままで、無駄な時間が気になります。答弁の間や無言の間をカットしたものにできないでしょうか。

短時間で視聴できると今より多くの町民が議会でのやり取りを知り、より良いまちづくりに取り組むきっかけにつながると思います。

なつかしの一枚



- 藻琴山温泉 末広荘・しらかば荘 -

芝桜公園の懐に包まれた地下952メートルから湧く天然温泉による休息・保養施設として、末広荘は昭和46年、しらかば荘は昭和52年に建設され、入浴・宿泊のみならず、研修・会合にも供され、また季節の味覚や土産品も求めることができました。

しかし、建物の老朽化が進み、利用者数も年々減少したことから、平成19年に取り壊され、現在、跡地には芝桜が植栽され、ピンクの絨毯が敷きつめられたような風景になりました。

議会町民懇談会の取り組み

大空町議会では、より多くの町民から意見を聴き、町民と議会の関係をより近づけられるよう、議会報告会のほか、団体や任意のグループ、次世代の担い手など（各団体等）を対象とした懇談会の開催に取り組んでいきます。

これは、議会から各団体等へ、各団体等から議会へ懇談会開催の申込みを行うことができまます。議会からは、少人数の議員が参加します。各団体等で議員と懇談したいなど希望がありましたら、議会事務局までご相談ください。

今後ともよろしくお願いいたします。

委員長	後藤忍	副委員長	三條幸夫	委員長	田中裕之	委員長	上地史隆	議長	近藤哲雄（発行責任者）	議会広報常任委員会
私たちが編集しました										

（後藤）
疲れ様でした。

一般質問を行うには、根拠となる情報収集・資料作成が必要となります。日々の仕事がお忙しい中での「一般質問」大変お重さを痛感しました。

朝夕には秋の気配を感じるようになってきました。

編集後記

UD FONT

議会だより「おおぞら」
第61号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行／大空町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／株式会社須田製版

住所／〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ <http://www.town.ozora.hokkaido.jp>

